

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

学習塾の先生に伺いました

Q 仕事の内容を教えてください。

A 個別指導と集団指導により、小学校1年生から高校3年生までの子どもたちを対象にした学習塾で、子どもたちに勉強を教えています。

Q この仕事を選んだ理由は何ですか。

A 自分は、大学入試の時に勉強に苦戦しました。この時の経験を生かして、苦手な勉強を教えてください、身近なお兄さんのような存在として、子どもたちの教育に少しでも関わられたらと思いました。

Q やりがいを感じる時を教えてください。

A 人を育てる難しい仕事ではありますが、一人ひとりに寄り添い、子どもたちが前向きになったときなどに、仕事のやりがいを感じています。

Q 市民のみなさんに一言お願いします。

A 制度上、受験勉強は大切ですが、これからの時代を生きていく子どもたちの人生を、もっと豊かにするための学びが重要だと思います。これからも、様々な分野の人たちで協力し、子どもたちの未来を応援します。



千葉 亮太 先生

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
本会議の録画放映も実施しています。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は35人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定: 2月20日 午前9:30~

請願締切予定: 2月10日 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	川畑 京子	副委員長	原田 雄一
委員	鈴木啓太郎	委員	民部 佳代
委員	加藤 恵一	委員	床井 紀範
委員	伊藤 初美		

表紙の題字を書いた人
大井西中学校3年 中島 凜香さん

ふじみ野



ふじみ野市にはおおい祭りや市民文化祭などたくさんイベントがあり、私は幼稚園の頃から楽しく参加していました。これからも様々な行事に参加し、いろいろな方と関わることができたら良いと思います。

編集後記

人気の寿司ネタである鮭が不漁というニュースが流れました。卵からふ化させ

稚魚を川へもどす「ふ化放流事業」は明治時代から行われてきたそうです。しかし、昨年秋、産卵のために川に戻ってきたサケが激減。海洋環境の変化が一因とされています。

また、台風や豪雨被害に悩まされる近年。貴重な資源を守るために今できることが求められています。

地球環境の危機を世界中に発信したのが16歳のスウェーデンの高校生グレタさんです。たった一人の訴えが今では130ヶ国以上の人を行動に導きました。昨年行われた子ども議会でも小学生から希望あふれる提案がされました。少しでも早く実現できるように心新たに努めていきます。(伊藤 初美)